

露地シンテッポウユリの9月彼岸出荷作型

1 情報・成果の内容

(1) 背景・目的

シンテッポウユリの露地栽培は県東部を中心に行われ、盆から彼岸にかけて出荷されている。9月彼岸前は高需要期であり高単価で取り引きされる時期であるが、収穫時期が気象に左右されやすく、安定的に採花できないことが課題となっている。そこで、安定的に9月彼岸前に出荷できる作型について検討したので紹介する。

(2) 情報・成果の要約

- 1) 定植前に 200 穴セル苗を2週間、5℃暗黒下の冷蔵庫で管理する（定植前苗冷蔵）と、抽台がやや早まり、採花時期が集中化して、高需要期の採花率が高まる。
- 2) 採花ピークは、6月10日頃に定植すると8月下旬、6月20日頃に定植すると9月上中旬となる。
- 3) 栽培スケジュールは図1のとおりである。



図1 9月彼岸出荷の栽培スケジュール

2 試験成果の概要

- (1) 品種は‘F₁オーガスタ’を供試し、2013～2015年までの3年間調査を行った。
- (2) 栽培期間中の気温は、2013年は育苗期がやや低温で推移したが定植後6月下旬から8月下旬にかけて高温で推移した。2014年、2015年は育苗期がほぼ平年並みで、定植後はやや低温で推移した（データ省略）。
- (3) 抽台は定植が早いほど早く、苗冷蔵でさらに早まった（図2）。
- (4) 定植前2週間、5℃暗黒下の冷蔵庫で苗冷蔵を行うと、採花時期がやや早まり、集中化する傾向がみられた（図3）
- (5) 定植前苗冷蔵を行い6月20日頃に定植した区は何れの年も、9月彼岸前高需要期の採花率が5割以上となった（図3、表1）。
- (6) 切り花品質は、定植日および苗冷蔵の有無による差は認められなかった（表1）。

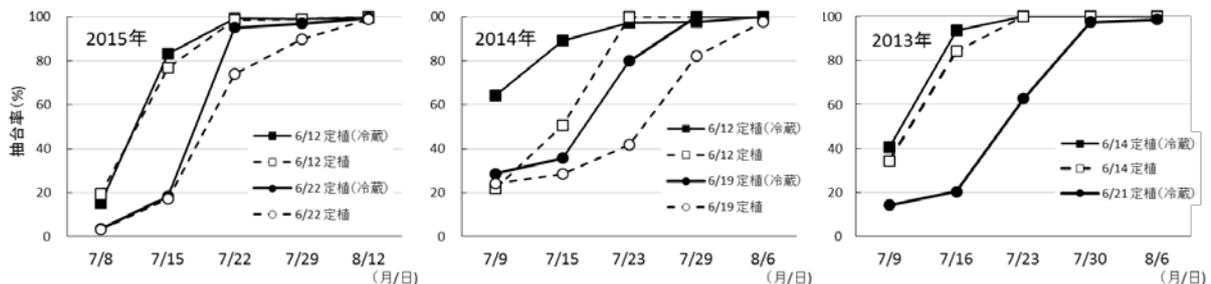


図2 定植日および定植前苗冷蔵の有無による抽台率の推移

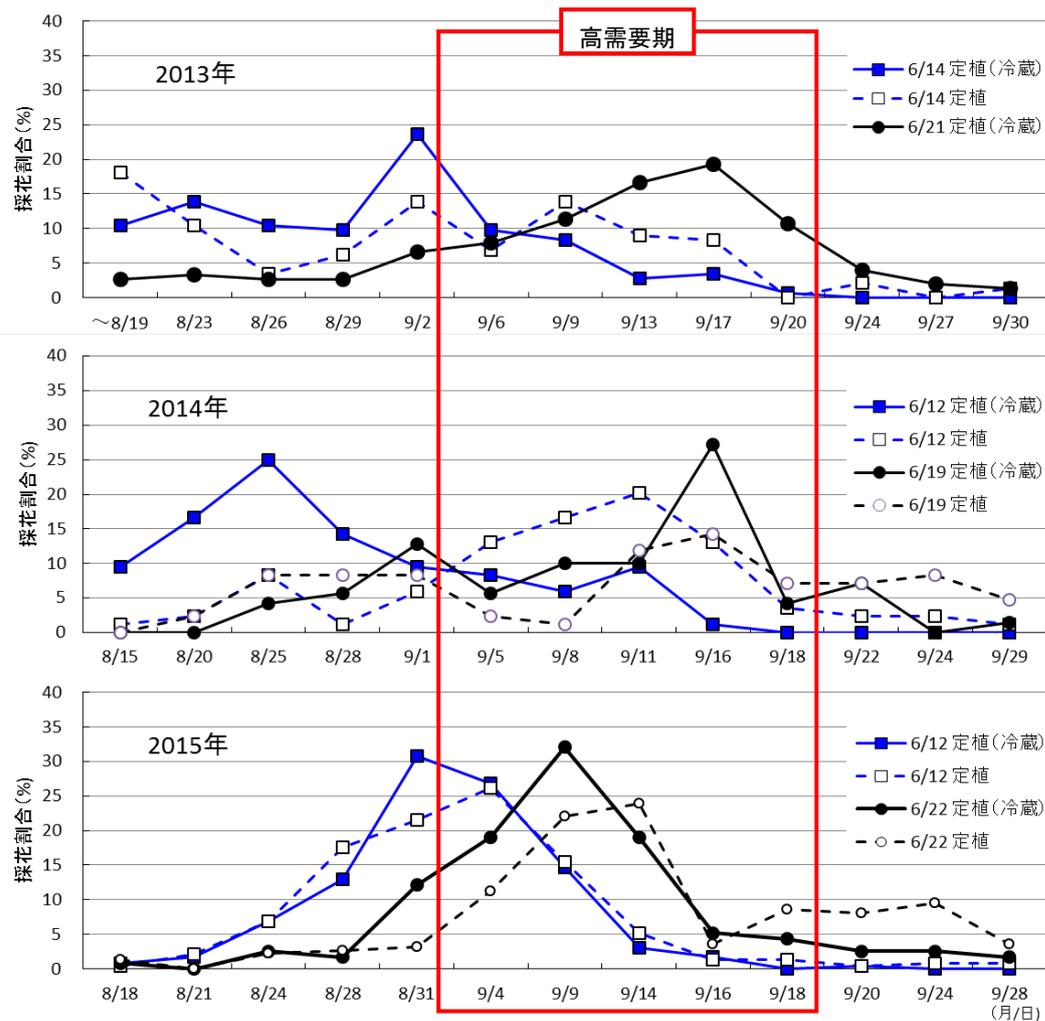


図3 定植日および定植前苗冷蔵の有無による採花割合の推移

表1 切り花品質および採花率

年度	試験区 定植日	平均採花日 (月/日)	切り花重 (g)	切り花長 (cm)	茎径 (cm)	輪数	葉枚数 (枚)	採花率 (%)	うち 高需要期
2015年	6月12日(冷蔵)	9/1	169.5	117.5	8.4	3.3	50.2	93.5	46.3
	6月12日	9/2	176.8	117.5	8.4	3.3	50.6	94.7	49.4
	6月22日(冷蔵)	9/9	184.0	124.9	8.5	3.4	51.0	92.0	79.7
	6月22日	9/11	178.8	122.0	8.4	3.6	49.9	91.7	69.4
2014年	6月12日(冷蔵)	8/27	120.6	103.2	8.2	2.4	38.9	100	25.0
	6月12日	9/7	122.5	108.9	8.7	2.5	45.7	91.7	66.7
	6月19日(冷蔵)	9/8	127.3	107.7	8.5	2.6	43.6	90.0	52.9
	6月19日	9/10	130.4	108.6	8.7	2.8	46.3	84.5	36.9
2013年	6月14日(冷蔵)	8/30	156.7	108.4	8.8	3.7	39.8	93.1	25.0
	6月14日	9/2	177.8	116.5	9.5	4.1	46.5	93.8	28.2
	6月21日(冷蔵)	9/11	168.0	117.8	9.0	4.0	43.9	91.3	66.0

3 利用上の留意点

(1) 対象地域は県内全域だが、標高の違いにより採花時期が本結果と異なる場合がある。

4 試験担当者

〔花き研究室 主任研究員 池田 規子
室長 岸本 真幸〕